

平成27年度 事業報告

岡山理科大学専門学校

建築と動物そして水生生物のスペシャリストを養成。学生、保護者、学校、地域、関連業界の皆様へ支持され愛される学校を目指します。



岡山理科大学専門学校は、昭和50年に岡山高等建築専門学校として開校し、昭和61年に現在の校名に改称し、今年で開校40周年を迎えます。この伝統ある教育を

さらにブラッシュアップするため、“厳しさの中にある丁寧さ”を兼ね備えた本校教育の原点に回帰し、社会人基礎力を備えた職業人の育成を図ります。

具体的な中期計画としては、

1. 専門職業に係る業界団体の意見や要望に応え得る人材育成のための教育改善を行い、授業の在り方や次年度の教育課程の改善を行いました。
2. 「職業実践専門課程」を有する学校として企業等と連携して実践的な職業教育に取り組み、教育効果を具現化しました。
3. 教職員の校務処理を効率的に行えるよう規程の整備と共にコンプライアンスの徹底を促進した結果、教職員の士気が上がり規律を遵守する意識が向上しました。
4. 時代と社会のニーズを先取りするべく将来構想検討委員会を設置し、本校の人的・物的資源を有意に活かすよう検討を重ねましたが、具体的な取り組みに至っていません。今後とも協議・検討を継続していき、具現化を模索していきます。

5. 昨年度に追加して建築学科（夜間部）の職業実践専門課程認定に向けて文科省に申請し、認定を受けました。

岡山理科大学専門学校 校長 村岡 正

教育の充実

■社会に認められる学校づくり

教育の質保証と向上のため、以下の取り組みを行い、社会に求められる学校作りを目指しました。

- ・学生による授業評価
- ・保護者アンケート
- ・授業観察
- ・学校評価・学校関係者評価
- ・専門業界からの意見聴取

■教育課程の再編

- ・動物看護師統一認定機構のコアカリキュラムに即した教育課程への再編を行いました。
- ・3年制の動物看護学科に臨床検査技術を修得できる科目の追加しました。
- ・ドッグトレーニング学科及びトリミング学科においては、教育内容を検討しましたが、目に見える改善に至っていません。翌年度の志願者動向を見て、学科再編や募集定員の見直しを行っていきます。

■職業実践専門課程認定校に相応しい学校運営

平成27年度より「職業実践専門課程」の認定を受けたことに伴い、文部科学省の指導に沿った学校情報の公開並びに企業等との連携を保った教育活動を行ってまいりました。

研究の充実

■産官学連携の教育

関連団体等が主催する各種研修会に参加し最新の技術や知識を修得し研究力の向上を図った結果、教職員の指導力向上に寄与しました。

また、アクアリウム学科においては学外研究施設や海外協力機関の要請に応え、新魚種における繁殖技術の研究を推進し、継続に努めます。

学生支援

■生活支援

- ・カウンセラーの配置により学生の心のケアをサポートに努めましたが、カウンセラーの常駐が経費の面から困難であり、成果に疑問が残りました。
- ・保護者に学校便りを年2回作成・発行し、郵送しました。保護者においては、学校の教育方針に対して多大な理解が得られました。

■就学支援

- ・専門職業人としての資質を高める目的で、各業界の専門家を講師に招き、社会通念についての特別講義を実施した結果、学生に好評を得ました。

■就職支援

- ・企業訪問により認知度向上と、本校に対する理解の促進を図るような施策を講じましたが、スタッフ不足から今一步効果を上げることが出来ませんでした。今後とも、推進していきます。
- ・就職支援会議の開催により学内での就職情報を

共有して効率化を図りました。就職状況の改善には継続的取り組みが肝要であると全員が認識しています。

- ・クラス単位での就職ガイダンスを実施し、キャリア教育の充実を図りましたが、教育課程内に「キャリアデザイン」という科目の履修をさせることを決定し、翌年度よりのカリキュラムに反映させました。
- ・就職活動ガイダンス

1年生	4月	キャリア教育講座 インターンシップ講座(1)(動物看護)
	6月	職業理解と労働法規講座 インターンシップ講座(1)(ドッグトレーニング)
	12月	履歴書の書き方講座(1)(アクアリウム)
	1月	履歴書の書き方講座(1)(建築、動物看護、ドッグトレーニング、トリミング) インターンシップ講座(1)(トリミング、アクアリウム)
	2月	合同企業説明会参加マナー講座(1)
2年生	4月	履歴書の書き方講座(2)(建築) 面接講座 インターンシップ講座(2)(動物系各学科)
	5月	合同企業説明会参加マナー講座(2) 内定礼状の書き方講座(トリミング)
	6月	内定礼状の書き方講座(建築、動物看護、ドッグトレーニング、アクアリウム)
	7月	合同企業説明会参加マナー講座(3)

社会連携・社会貢献

■地域の学校との連携

- ・地元の小中学校や高等学校における課題研究や総合学習の時間に本学の教育施設を活用して頂き、より一層の本校の知名度を上げることに奏功しました。

■地域との交流

- ・地元地域の行事に積極的に参画し、学生による

ボランティア活動の啓蒙を図りました。

学生の受入

■受験生との接触機会の拡大

- ・資料請求の実績の高い地域での進学説明会への参画
- ・SNSなどインターネットを利用した情報発信
- ・高い就職実績と資格取得率のタイムリーな情報発信
- ・社会人学生の受入推進

内部質保証

■FD・SD

- ・各種研修の随時開催を目指しましたが、教職員の時間的拘束が多く実現に至りませんでした。翌年度は、積極的に推進して、教職員の資質向上を目指します。
- ・学校の運営方針を学内で共有し、健全運営を目指し、経費の抑制に勤め、財務改善に結びつけることが出来ました。

その他の取組

■適材意識

授業アンケートの結果を分析し、教員の適正配置に努め、専門性を考慮した学科構成員を目指しました。

複数名の産育休教員・校務助手の補充に、非常勤講師並びにアルバイト人員を採用し、経費を最小限に抑え、欠員による教育の低減を未然に解決しました。

■コスト削減

引き続き全教職員に対し合理化、光熱水費節約や

出張経費の削減について協力を求めましたが、教育・研究に欠かせない光熱水が幾分増加し、例年と同様の結果に終わりました。

■保護者向け学校便りの発行

学校内の様子（行事・イベント、各種競技会等）をリーフレットにまとめ、年度2回の保護者への配布を行いました。

主な行事

4月8日	入学式
4月14日	授業開始（夜間部） 授業開始（昼間部）
6月16日	球技大会
7月18日 ～8月23日	夏季休暇
9月7日 ～11日	前期末試験
10月1日	後期授業開始
12月24日 ～1月5日	冬期休暇
2月28日 ～2月3日	後期末試験
3月20日	卒業式

学生・教職員数

■在籍学生数

(平成27年5月1日現在)

課程・学科名		入学定員	入学者数	収容定員	在学者数
工業 専門課程	建築学科(昼間部)	40	46	80	88
	建築学科(夜間部)	20	17	40	33
	福祉住環境デザイン学科	(募集停止)	—	—	—
	計	60	63	120	121
商業実務 専門課程	映像情報学科	(募集停止)	—	—	—
	計	(募集停止)	0	0	0
文化・教養 専門課程	動物看護学科 3年制	30	9	90	35
	〃 2年制	20	23	40	52
	トリミング学科	40	20	80	35
	ドッグトレーニング学科	40	35	80	61
	アクアリウム学科	40	42	80	76
	計	170	129	370	259
合計		230	192	490	380
専攻科	建築学科専攻科	10	10	10	10
研究科	動物系総合学科研究科	10	14	10	14

(単位：人)

■卒業生数等一覧

(平成27年度)

区分	卒業生	就職希望者 A	就職者 B	就職率 B/A	進学者	退学者・ 除籍者	休学者	留年者 ※
岡山理科大学専門学校	189	149	141	95%	26	24	1	3

※ 修業年限を超えて在籍している学生数 (平成28年4月1日現在)

(単位：人)

主な就職先	鏡野町役場、(株)フォルム設計、(株)大本組、トヨタホーム岡山(株)、京都中央動物病院、ファープル動物医療センター、ペットサロンフェリーチェ、ペットショップヤマモト(2店舗)、広島県教育委員会(学校事務)、(株)リックコーポレーション、SEIWASOHドッグスクール、(国研)水産総合研究センター 日本海区水産研究所、(株)環境総合テクノス 宮津事業所(滋賀県立琵琶湖博物館)、岡山中央魚市(株)、他116社
-------	--

■教職員数

(平成27年5月1日現在)

校長	教員	教員 計		事務職員
1	11	12		10

(単位：人)

財務関係

■ 事業活動収支

(単位：千円)

年度		27年度 決算額	前年度 決算額 (※1)
科目			
教育活動 収入	学生生徒等納付金収入	322,572	338,213
	経常費等補助金	66	252
	その他収入	3,982	5,960
	計	326,620	344,424
	教育活動 支出	人件費	219,248
教育研究経費		71,513	72,254
管理経費		26,053	26,346
その他支出(※2)		0	2,010
計		316,814	316,932
教育活動収支差額		9,806	27,492
教 活 外	収 受取利息等	20	*
	支 借入金利息等	966	*
	教育活動外収支差額	-946	*
経常収支差額		8,860	27,492
特 別	収 資産売却差額等	905	*
	支 資産処分差額等	120	*
	特別収支差額	785	*
基本金組入前収支差額		9,645	27,492
基本金組入額合計		-35	-906
当年度収支差額		9,611	26,585

※1 前年度決算額は、新会計基準の該当科目に反映させた

※2 * 「教育活動収支」の「その他収入・支出」に含めた

■ 施設設備整備

(単位：千円)

事業名	金額
ケネルコップ等伝染病隔離エリア排便所 設置一式	580
半田町研修館2階エアコン交換工事	500
半田町研修館1階エアコン交換工事	400
動物細胞検査施設用備品	2,000
講義室空調機設備一式	600
第3アクア実習室エアコン交換工事一式	200